

【プログラム12:未来予想トーク ～想像しよう自分の未来～】

☆ねらい：すごろくを使い、自分の将来像を考えることを通して、進路や自立に向けて考えるきっかけとし、自分自身、またお互いを知り、主体的な生活、豊かな人間関係を築こうとする心情を高める。

《プログラムの概要》

キーワードの例	将来のこと
時 間	20分
人 数	何人でもできる。
活動形態	グループ（1グループは4～6名がよい）
準備物	サイコロ、すごろくシート（それぞれグループ数）、コマ（人数分）
主な活動	①すごろくを使って、未来予想トークをする。 ②注意事項を確認する。 ③グループで話題になったこと等を全体に紹介する。
気を付けること	○話せる範囲で話してよいことを説明し、安心感をもって参加できるようにする。 ○全員が同じように話すことができるようにする。 （例：話す時間は1回につき約30秒程度と決める等） ○「聴くとき」の説明をする。 （例：相手を見る、うなづく、微笑む、否定しない、あいづちを打つなどを取り入れながら聴く） ○すごろくシートの話題は、活用場面や時期、生徒の実態に応じて変更して用いると効果的である。その際、不適切な表現や質問にならないように十分配慮する。 ○就職差別につながるおそれがある質問に対して、「答えられません」ということがあることを、進行役は理解しておくとともに、必要に応じて生徒に考えさせる場としてもよい。その場合は、まとめに用いる言葉も付け加えることが大事である。
備 考	○新入生研修や新学期、長期休業日明け、席替え等の機会（生徒間の親睦を深めたい時）等の前に活用するとより効果的である。
学習指導要領 特別活動との関連	【高等学校 ホームルーム活動】内容（2）オ（3）カ 【中学校 学級活動《現》】内容（2）オ（3）オ 【中学校 学級活動《新》】内容（2）エ（3）ウ